

かすや 議会だより



No. 171

2024年
2月7日発行

12月
議会号

ブックスタート
～絵本を介して親子の絆を育む～
表紙関連記事は16ページへ

定例会ピックアップ P2～P3 ・ 町政を問う一般質問 P11～P15



福岡県粕屋町議会



粕屋町議会ホームページ

定例会ピックアップ

12月定例会は12月1日から12月11日までの11日間での会期で開催されました。

1

粕屋町国民健康保険税条例における出産被保険者の産前産後期間に係る国民健康保険税の減額

■対象者

産前産後被保険者が属する国民健康保険税の納税義務者(未申告世帯は除く)

●単胎の場合→出産予定日または出産日が属する月の前月から4か月間

●多胎の場合→出産予定日または出産日が属する月の3か月前から6か月間

令和5年度分の保険税のうち令和5年4月～12月

までに係る保険税についても適用されます。

例) 令和5年2月出産の場合、令和5年4月分のみ減額該当
令和5年4月出産の場合、令和5年4～6月分が減額該当



■減額内容

世帯主の申請に基づき、出産被保険者に係る所得割額及び均等割額を該当月分減額
また、低所得者に対する7割、5割、2割の軽減が適用されている場合は、軽減後に減額適用
令和5年度の所得割額・均等割額(年額)は以下のとおりです

	医療分	支援分	介護分
所得割額(基準所得金額×率)	8.12%	2.68%	2.41%
均等割	28000円	10000円	11000円

基準所得金額 = 総所得金額 - 430000円(基礎控除額)

■施行日 令和6年1月1日

2

粕屋町総合体育館(かすやドーム)大規模改造工事の工事請負契約の変更

令和4年9月定例会にて可決した粕屋町総合体育館(かすやドーム)大規模改造工事について、現在工事がすすめられているところ、主に外壁に要修復力所が多数見つかかり修復工事を追加で行う必要があり、工事金額の変更が生じました。

■契約の金額(消費税込み)

当初の金額 7億8792万円

変更後の金額 7億9439万円(647万円の増↑)

■契約の相手方 因・荻原特定建設工事共同企業体

代表者 因建設株式会社 代表取締役 因 善嗣

■工事期間 令和4年9月30日から令和6年3月21日

■変更工事箇所 外壁補修工事

SA棟炎感知器工事

プールアリーナ照明工事

機械室ろ過器工事

バリアフリー工事



3 带状疱疹予防接種費用助成事業の開始

带状疱疹とは…

水ぼうそう(水痘)の原因である「水痘・带状疱疹ウイルス」が引き起こす病気です。個人差はありますが、身体の左右どちらか一方に、ピリピリと刺すような痛みとこれに続いて赤い斑点と小さな水ぶくれが帯状に現れます。加齢などによる免疫力の低下が原因で、50歳以上から発症率が高くなり、80歳までに約3人に1人が発症すると言われてい

ます。
带状疱疹予防接種は任意接種ですが、費用の一部を助成することにより、発症の抑制及び重症化の予防ならびに経済的負担の軽減を図り、町民の健康増進に寄与することを目的としています。

■対象者

接種日において、下記のいずれにも該当すること。

- 粕屋町に住所を有する者であること。
- 満50歳以上であること。
- 粕屋町带状疱疹予防接種費用助成事業実施要綱の規定による助成を受けていないこと。
ただし、乾燥組換え带状疱疹ワクチンによる1回目の予防接種に係る予防接種費用助成を受けた者で、同ワクチンによる2回目の予防接種を受けようとする者を除く。
- 過去に他の市町村から、同種の助成金等の交付を受けた者でないこと。

■助成額

予防接種の名称	助成上限額	助成回数
乾燥弱毒生水痘ワクチン (生ワクチン)	5000円/回 (接種費用が5000円未満の場合はその額)	1回のみ
乾燥組換え带状疱疹ワクチン (不活化ワクチン)	10000円/回 (接種費用が10000円未満の場合はその額)	2回のみ

■助成方法

- 町内医療機関 → 窓口助成
- 町外医療機関 → 償還払い

■開始時期

令和6年1月1日以降接種分より助成



4 仲原川河川改修工事費の減額

仲原川河川改修工事で資材置き場などに使用した土(建設発生土)1295㎡を町内の区画整理事業組合の埋め立てに使用できることになり、残土処分費657万円が不用になりました。

議会からの要望

今回の件は道路環境整備課と都市計画課の連携により費用削減となっており、素晴らしいことである。
今後も各部署との連携を図り経費の削減に努めていただきたい。

令和5年度

一般会計補正予算 (第4回)

8億232万円を増額

総額 222億614万円

今回の補正予算では、障がい者・児の利用増加に伴う福祉サービス事業費の増額や、物価高に最も切実に苦しんでいる低所得者の生活を守るため、「物価高騰緊急支援給付金」を住民税非課税世帯1世帯当たり7万円を追加するなど、合計8億232万円の増額を可決しました。

主な歳出予算のみピックアップ

- 移住支援事業費の増額 600万円
- ふるさと納税業務委託料の増額 1830万円
- ふるさとづくり基金積立の増額 3141万円
- 粕屋中央小学校第4期大規模改造工事費
(エレベーター設置工事)の増額 7990万円
- 障がい福祉サービス事業費の増額 1億7100万円
- 町営住宅管理運営事業費の増額
(朝日団地建替工事 資材等の価格高騰による増額) 1278万円
- 価格高騰緊急支援給付金給付事業費の増額 3億485万円
- 感染症予防事業(带状疱疹ワクチン接種)の増額 401万円

討論

議案 100号 「令和5年度 一般会計予算」
についての討論

可決



反対
討論

ふく なが よし ゆき
福永 善之

近年、選挙前になると物価高対策という理由をつけ、特定の層、低所得者や住民税非課税世帯に給付金を与える施策が定着している。恩恵を受けない中間層は、決められた税金を納めるだけで、何のために頑張っているのか。「バラマキ」のために税金を納めているのではなく、今の政治に絶望感を抱いている。税金を集め、それを特定の層にばらまき、原資が足りなくなれば増税する。ばらまく余裕があるなら、納税者に減税するべきだ。



賛成
討論

ふる いえ まさ かず
古家 昌和

注目したのは、議会の反対を招きかねない、年度途中で実施する提案をした带状疱疹ワクチン接種補助事業。带状疱疹で苦しむ町民をひとりでも多く、早期に減らしたい。医療費削減につながると考えられるこの事業をいち早く取り入れたい。フレイル予防の観点からも、費用対効果を重視する執行部の強い熱意を感じた。公共の福祉向上に邁進する、まさに町民ファーストの積極的な姿勢を高く評価し、補正予算案に賛成。

一目でわかる審議結果

令和5年12月定例会に提出されたのは、議案17件です。

議案番号	採決結果	賛成(人)	古家昌和	田代勸	杉野公彦	宮崎広子	末若憲治	井上正宏	案浦兼敏	鞭馬直澄	川口晃	福永善之	田川正治	久我純治	本田芳枝	山脇秀隆	安藤和寿	小池弘基
◎議案名はわかりやすい 文言に置き換えています																		
92 副町長の選任同意(池見雅彦氏)	同意	15	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
93 一般職の職員の給与に関する条例の一部改正	可決	13	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	欠
94 特別職の職員の給与に関する条例の一部改正	可決	13	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	欠
95 議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正	可決	13	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	欠
96 会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正	可決	14	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
98 特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準に関する条例の一部改正	可決	15	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
99 住宅新築資金等貸付事業特別会計条例を廃止する条例	可決	15	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
100 令和5年度 粕屋町一般会計補正予算(第4回)	可決	14	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○
101 令和5年度 粕屋町国民健康保険特別会計補正予算(第2回)	可決	13	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	●	○	○	○	○	○
102 令和5年度 粕屋町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2回)	可決	13	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	●	○	○	○	○	○
103 令和5年度 粕屋町介護保険特別会計補正予算(第2回)	可決	15	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
104 令和5年度 粕屋町水道事業会計補正予算(第2回)	可決	15	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
105 令和5年度 粕屋町流域関連公共下水道事業会計補正予算(第3回)	可決	15	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
106 工事請負契約の変更(仲原川河川改修(鋼矢板護岸)工事)	可決	15	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
107 工事請負契約の変更(粕屋町総合体育館 大規模改造工事)	可決	14	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○
108 工事請負契約の変更(町立中央保育所 建替工事)	可決	15	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
109 粕屋町国民健康保険税条例の一部を改正する条例	可決	14	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○

議長は採決にわりません

※議案第97号は欠番 ○⇒賛成 ●⇒反対 ー⇒退席 欠⇒欠席

粕屋町議会
イメージ
キャラクター
「かすカモ」



右のQRコードより採決の様子を
ホームページでもご覧になれます。

▶開会日



▶閉会日



討論

議案 95号 「議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正」についての討論

可決



反対討論 **福永 善之**

大企業を除き、中小企業の賃上げは厳しい状況。昨年から続く、食料品をはじめ、物価の上昇に賃金の上昇が追いついていない。賃金から税金や社会保障費を差し引いた町民の可処分所得は減少しており、国民負担率は50%に迫ろうとしている。今後、少子化対策や防衛費増の財源の問題として、増税も想定される。そのような社会情勢において、議員のボーナスを上げることは、町民の賃上げがなされるまで待つべきだ。



賛成討論 **杉野 公彦**

議員報酬に関しては、人口が同じレベルの他の市町村と比較して、非常に低いと言わざるを得ない。全国的に議員のなり手がいない、定員の割り込み、無投票当選が続いている情勢の中で、市になる人口を迎えようとしている粕屋町が郡内最低レベルの報酬水準であっていいとは思っていない。今後、若い方に議員としての参加を求めていくのであれば、報酬を上げる議論こそすれ、下げる、据え置くという考えは持つべきではない。

総務建設常任委員会

粕屋宅建会と意見交換会を開催

実施日 令和5年10月10日

場所 粕屋町役場

出席者 16名（粕屋宅建会8名）
議員8名



議会報告会の一環として、町内の不動産会社で組織する粕屋宅建会（公益社団法人福岡県宅地建物取引業協会東部支部所属）と意見交換を行いました。宅建会から出していただいたテーマを軸として、長年整備が進んでいない都市計画道路や駅前の再開発、空き家バンクについてなど、率直な意見交換が行われました。

また宅建会から町営住宅の民間管理委託や、住宅建設に係る最低敷地面積の軽減に関する提案もいただくなど、今後の委員会活動に大いに役立つものとなりました。

今後、都市計画の変更も考えられることから、定期的な意見交換を引き続き進めていくこととなりました。

都市計画道路の検証・見直しに関する要望書を町長に提出

当委員会では、昨年度から都市計画道路の検証・見直しに関する問題に取り組んでおり、この問題について福岡県・糸島市への行政視察や粕屋宅建会との意見交換を行うとともに、委員会での協議を重ねてきました。

これらの調査結果や協議を踏まえ、令和5年11月14日、来年度予算の編成に向けて右記の要望をしました。

要望事項

- ①直近で実施された都市計画道路の見直し検証結果（平成30年度～令和2年度）について、本年度内に当委員会に対して路線カルテを開示し、説明すること。
- ②将来の推計交通量及び広域道路網としての役割などを把握し、都市計画道路の優先度や変更・廃止・存続について調査研究するための調査費を令和6年度予算に計上すること。

遅れている都市計画道路の整備を1日でも早く進められるよう、委員会としても全力で取り組みます。

文教厚生常任委員会

不登校児童生徒への支援を視察

実施日 令和5年10月10日

参加人数 7名(議員)

視察先 福岡市こども総合相談センター
えがお館



福岡市は不登校児童生徒の学校復帰率が全国平均より高く、令和7年4月からは「不登校特例校」も開設されます。粕屋町とは予算規模や施設設備、人員配置も大きく違うのですが、増え続ける不登校の課題について、居場所づくり、体制づくりなど参考になるところが、多々ありました。

1 すべての中学校にステップルーム(校内適応指導教室)が設置され、そこに不登校対応教員(中学校の正規教員)が配置され授業を行っています。例えば、オンライン授業や調理、校外学習なども実施されており、ここからの復帰率が高く、不登校対応教員に対して研修も行われています。

粕屋町の中学校では校内支援センターはありますが、教師は県費の支援加配教員で授業は行われていません。ここに通う生徒は自学自習になります。

2 教育相談室の施設設備や職員の配置
「えがお館」は、子どもがまた来たくなるような施設になっています。簡単な時間割があり、音楽室、図書室、調理室などで好きな学習に取り組むことができます。

粕屋町では「ぼると」に当たりますが非常に狭いです。出席扱いですが自主学习です。

3 保護者支援について
保護者に向けて不登校に関する講座が開かれており、とても好評ということです。不登校に対する理解が進み、保護者を孤立させない取り組みをしています。

粕屋町での不登校支援についてできるところから取り組むべきで、委員会でもさらに調査研究していきます。

粕屋町小中学校PTA連絡協議会との意見交換会

日時 令和5年10月4日(水) **場所** サンレイクかすや **参加人数** 9名(議員)

PTA会長さん達のお悩みを聞きました。

今年度からPTAへの加入意思確認が行われ、加入率が減ってくることによる活動の悩みです。活動のスリム化を行い負担を減らしていますが、PTA会費の扱い方や、県や九州など大きな会合への参加の課題もあります。PTAは地域の子ども達を応援する大切な団体です。意見交換はこれからも続けていきます。

議会広報常任委員会

より身近で親しみやすい議会広報を学ぶために視察研修を実施

実施日 令和5年11月16～17日

参加人数 7名(議員)

町村議会広報全国コンクールで何度も受賞されている鳥取県大山町と、議会広報のデジタル化に力を入れている岡山県美咲町を訪問しました。

鳥取県大山町

特色ある取り組み

- ・定例会2週間前から8名の委員がデスクと記者に分かれて特集記事など準備
- ・IT機器を駆使し、委員会回数も少なく、スムーズな編集作業を行っている
- ・まちづくりに関心の薄い世代に向けて、町民に関係度の高い内容を中心に掲載
- ・全体的に写真を多く掲載し、いきいきとした紙面づくり



粕屋町への活用

粕屋町のタブレット使用による議会編集作業は12月議会号から始まったばかり。

IT機器を駆使した編集で情報の共有が図られることにより、より充実した特集記事、町民に対する丁寧な取材および記事作成につながる事が再確認できた。

岡山県美咲町

特色ある取り組み

- ・力まず気軽に、意欲のある希望した議員6名で構成
- ・「美咲町メディアミックス構想」に基づき議会内容を町営のケーブルテレビやYouTubeで配信
- ・「誰一人取り残さない議会」を目指し、複数の媒体による議会報告を実施
- ・紙面においては簡潔な文章、興味を引くキャプションや見出しなどを心がけている



粕屋町への活用

住民参加にとっても力を入れて、議会アンバサダー(大使)や10名以上の参加で実施される出前議会などの取り組みがとても刺激になり、導入を検討。

IT機器を駆使してもっと効率のよい編集作業の確立をする必要がある。

YouTube配信に関しては担当が限られているので編集できる人材の育成が急務。

親しみやすく手に取って読んでみたい議会だよりを目指して 令和5年度町村議会広報研修会から

広報紙作成の基本ポイント等を学ぶため、町村議会広報研修会に参加しました。

開催日 令和5年11月21日

参加人数 7名(議員)

会場 博多サンヒルズホテル

講師 グラフィックデザイナー 長岡 光弘 氏

糟屋郡内から粕屋町を始め6紙、これに大刀洗町、大木町の2紙、合わせて8つの町議会広報紙がクリニックにかけられ、それぞれの特色を知る絶好の機会となり、講師のコメントなど、大変参考になりました。

粕屋町議会は、昨年に引き続きクリニックを受けることになり、参加した議会広報常任委員会委員全員が緊張しましたが、アドバイスやお褒めの言葉をいただき、安心しました。



視察および研修結果の活用

今回の視察、研修で得た知識を積極的に取り入れ、さらに親しみやすく町民の皆様が手に取って読んでみたくなるような広報紙づくりや、ITを活用した情報発信を進めます。また、町民の皆様との様々な意見交換の場をつくり、議会活動に反映させるよう取り組みます。

全員協議会

タブレット端末およびペーパーレス会議システム研修の実施

実施日 令和5年10月17日

参加人数 16名(議員)

研修場所 粕屋町役場 3階31会議室

研修内容 ペーパーレス会議システムなどの使用方法

議会では、緊急・災害時も含めた効率的な情報の収集と発信力の向上と、議会のICT化[※]やペーパーレス化の推進のため、タブレット端末導入についての議論を重ねてきました。

令和4年5月に近隣先進議会への視察研修を行い、9月には議長に対し、町執行部への予算措置の要望と条例等の整備を進める提案書を提出しました。

近隣市町村の多くがタブレット端末の導入が完了する状況の中、半導体不足などの要因も重なり、約2年の期間を費やし令和5年10月の導入に至りました。



これまで当たり前前に実施してきた対面での会議や紙面での資料配付などについて、積極的にICT化を図ることで、迅速かつ正確な情報が共有でき、効果的な議会活動が行えることが期待



されます。また、より使い勝手のよいアプリケーションの導入やセキュリティ対策の強化など、さらなる議会改革推進のため、引き続きタブレット端末の活用術を考えて行きます。議員と議会事務局職員の全員が操作に慣れるまではもう少し時間が必要ですが、互いに学び支え合いながら乗り越えて行きたいと思います。

※ICT化：情報通信技術を活用して業務におけるコミュニケーションの円滑化、ひいては業務効率化や生産性向上を図ること。

町政を問う 一般質問

令和5年12月
4日～6日実施

一般質問は定例会で行われ、粕屋町では会期の始めに行っています。議員は町政全般にわたって、町長など執行機関の考えを伺いたします。

質問の内容は事前に通告し、持ち時間60分の範囲で1問1答※で行います。※質問、答弁を理解するまで繰り返す方法

記事は会議録に基づき、議員個々の原稿を議員責任の下に掲載しております。
また写真なども議員提出によるものを掲載しています。
詳細は会議録【ホームページ・議会事務局・粕屋フォーラム(図書館)に置く】をご参照ください。

P11 宮崎 広子 議員

①不登校児童生徒の居場所づくりは

P12 田川 正治 議員

①中央・仲原幼稚園の廃園ありきでは

P12 福永 善之 議員

①MOA作品展、宗教と教育の関係は

P13 山脇 秀隆 議員

①ボランティア活動の推進を
②コミュニティバスの導入はいつ

P13 川口 晃 議員

①重要土地等調査法注視区域の範囲は

P14 鞭馬 直澄 議員

①自主財源を拡大する施策を問う

P14 田代 勘 議員

①まちの魅力を町内外に発信する施策は

P15 安藤 和寿 議員

①粕屋町ライドシェア実用の考えは

P15 本田 芳枝 議員

①令和6年度の職員採用計画は

掲載は
質問順と
しています。

宮崎

教育委員会事務局次長

宮崎

町長

不登校の児童生徒の居場所づくりとして考えられている第2こども館構想の進捗状況は。

学習スペースでのテスト勉強や動こうスペースでの運動など、有効利用している。スクールソーシャルワーカーは、外部の協力を得ながら何とか対応している。不登校の児童生徒が今後も増加傾向にあることから、財政面も勘案し、増強策を検討したい。

こども館内にある教育相談室「ぽると」が狭い。時間帯により空いているこども館のスペースの有効利用は。また、スクールソーシャルワーカーの増員は。

第2こども館にも支援の場をつくりたい

不登校児童生徒の居場所づくりは



みやざき ひろこ
宮崎 広子 議員

その他の質問

●子ども達の健康な体づくりや地球温暖化を防ぐ食品ロス活動について

教育委員会事務局次長

宮崎

町長

町独自の開催はしていない。子どもはそれぞれ違う課題を抱えており、個別に対応している。研修会は、孤立防止や相談先の周知も含め、自治体、民間で開催されている。研修会の活用を視野に研究していきたい。



「ぽると」自習室

孤立せずに子どもを育てるための場づくりとして、保護者向け研修会の開催は。

今のこども館以上に、学校に行けない子どもたちを支援する大きな場所としてつくりたい。場所は大体選定しているが、財政的な問題などを研究している。早々に具体的な内容を表明したい。

動画はコチラから





たがわ まさはる
田川 正治 議員

動画はコチラから



中央・仲原幼稚園の 廃園ありきでは

町長

白紙状態で「あり方検討会議」に諮問

田川

児童福祉法の市町村の保育実施義務、教育基本法の幼児教育の公的機関の役割として、現在の各小学校区にある町立幼稚園の役割は重要。中央・仲原幼稚園を廃園しないで存続すべきでは。

町長

幼児教育保育の無償化の影響で、町立幼稚園の定員割れが続き、保護者の就労形態の多様化により保育に対する需要が増えている。保育を必要とする未就学児に、適切に保育を提供していくため、再編整備を検討する必要があると思う。

教育長

就学前の3歳以上の無償化により、世の中の価値観が大きく変わったと思う。幼稚園、保育園

教育長

と区別するのではなく、就学前教育としては一緒。需要として町立幼稚園の希望者が少なくなってくれば、存続させるか、縮小するかという議論が出るのは当たり前と思う。

田川

中央・仲原幼稚園の廃園は、行革の人員費削減と位置付け、町立幼稚園廃園ありきの方針で、町長は「あり方検討会議」に提案されたのでは。

町長

白紙の状態です。あり方検討会議に諮問した。行財政改革の人員費や保育施設の削減が目的ではない。私は人員費削減について、就任以来一言も言っていない。

田川

仲原幼稚園と仲原保育所が閉園で、小規模保育所を開園した場合、3歳以上の行き先は。

子ども未来課長

連携施設は、町立保育所の3園を想定しており、仲原保育所は当面閉園しない。



ふくなが よしゆき
福永 善之 議員

動画はコチラから



MOA作品展、 宗教と教育の関係は

教育委員会事務局次長

教育活動として
学校の判断で参加

福永

作品展の主催者は、公益財団法人岡田茂吉美術財団で、岡田茂吉氏が設立した世界救世教の関連団体。作品展の対象者は小学生だが、粕屋町が参加する理由は。

教育委員会事務局次長

教育委員会として名義後援しており、各学校の判断で作品展に参加している。

福永

作品展には協賛金が運営資金になっている。出資者は誰か。

町は把握していない。

福永

母体が宗教団体で、町が名義後援している。資金源の確認が必要では。憲法20条では、公立学

福永

校における宗教教育や宗教活動を禁止しているが。

教育委員会事務局次長

公益財団法人は国の認定を受けた者で、宗教法人である世界救世教とは法的に別人格。

福永

名称を見れば別団体だが、公益財団と宗教団体の設立者は同一人物。宗教団体はいろいろな方法で人々の生活に入り込んでくる。旧統一教会の件では、マインドコントロールされた信者の高額な寄付で苦しむ家族の問題がある。また、親元を離れた大学生への入学後のしつこい勧誘が大きなトラブルになった例もあるようだ。未然に問題を防ぐ必要から、公教育の宗教への関わりは考えるべきでは。

教育委員会事務局次長

問題があれば名義後援は不適切だが、問題がないのに宗教だからと拒否することは差別問題ではないか。

その他の質問

● 移住支援事業について



やまわき
山脇 秀隆
ひで たか
議員

動画はコチラから



ボランティア活動の推進を

町長

社会貢献を受け入れる体制を作る

協働のまちづくりの担い手であるボランティアは、高齢化などで減少傾向にある。ボランティア活動の現状と課題は。

山脇

ボランティア団体等の数は、平成30年度から令和4年度までほぼ右肩上がりに増加している。しかし現在、担い手となるボランティアの方は減少傾向にある。ボランティアなどの活動を活性化するためのネットワークづくりの必要性は認識しており、フォーラムなどをどう行っかが課題だ。

学校教育におけるボランティア意識の醸成は。

山脇

子どもたち自らが、ボランティアの意義、やりがいなどを学んだ上で、できることを考え、内容を決めて実施している。表彰などを通じて意識の醸成につなげている。

教育委員会事務局次長



かわぐち
川口 晃
あきら
議員

動画はコチラから



重要土地等調査法 注視区域の範囲は

総務課長

袖須駅とその西側、
四軒屋交差点付近が範囲

内閣府の「意見聴取に関する連絡文書」の聴取する意見の内容は、「その他区域の外縁設定等の参考となる情報、区域案が所在する地域の町字リストを同封しているので、同日までに修正等をお願いする」だ。リストの修正はしたのか。

川口

総務課長

地図は内閣府が作成した。町は「修正等を行なわない」旨、回答した。

この通知は「国が必要としている情報の提供」を求めている。聴取する意見の内容は「区域外縁近傍で、過去に発生した基本方針の例示と思われる行為」機能阻害行為の情報等、個人情報

川口

川口

の提供を政府にせよ」だ。「区域の外縁近傍」は袖須区・乙仲原西区が該当する。注視区域の範囲と、住民数の回答を。

総務課長

対象の範囲は福岡空港の範囲から概ね1キロ以内。袖須駅を含むその西側、四軒屋交差点付近が範囲と考えられている。袖須駅は確実に入る。対象住民数については、詳細等把握していない。

川口

総務課長

内閣府への報告において外縁地域問題で「袖須と仲原」について記述はしたのか。

都市計画課が報告を行ったが、町からの追加の記述はしていない。



内閣府公表「福岡空港周囲の注視区域図」



むちま
鞭馬 直澄
議員

動画はコチラから



**自主財源を拡大する
施策を問う**

町長

企業誘致を
今以上に活発に行う

鞭馬
企業が事業を発展させる拠点として粕屋町をどう見ているかを知ることが大事では。

町長
粕屋町を知ってもらおう、これがまず第一歩。

鞭馬
業界団体・企業と交流会を設け、積極的に情報交換・収集する取り組みが急務では。

町長
企業との積極的な情報交換・交流は大事。福岡を代表する企業が交流会を設け、いろんな勉強や研究をしている場にも職員を出して人的交流を図っている。それが今後知識を得たり、いろんな研究をするためのコネクションになると思う。

鞭馬
町長が更なる力を発揮し、トップセールスを行うことが攻める町政運営で、強い粕屋町になれる強力な原動力になるのでは。

町長
私が積極的に企業トップの方と会い、進出を呼びかけており、非常に反応は良い。様々な分野の方々に粕屋町に興味を持ってもらえるようなセールスを行いたい。

鞭馬
先行投資なしでは将来は見えてこない、中でも人材育成はポイントだ。思い切った先行投資を行い、攻めの町政運営を強力に実行するため町長の更なるリーダーシップを期待する。



粕屋町のランドマーク駕与丁公園



たしろ
田代 勤
議員

動画はコチラから



**まちの魅力を町内外に
発信する施策は**

町長

様々な媒体を使い
PRを行いたい

田代
若者向け魅力発信事業として、シティブロモーションを計画しているが、今後の展開は。また新たなプロモーションを考えているか。

経営政策課長
町を題材にしたショートドラマの公開、YouTubeでの配信広告、移住メディアへの記事掲載等を予定。また若者以外をターゲットとしたプロモーションを検討中。

田代
町の魅力を内外に発信と併せて、受け皿となる基盤整備も必要では。

町長
粕屋町の魅力は住みやすさ、働きやすさ。交通インフラも整備しつつ、コミュニティバスも再

町長
検討中。地価高騰、建設単価高騰のため、最低敷地面積の緩和も再検討中。併せて調整区域の解除も視野に入れ、大型開発には十分な支援をしながら、住宅地の展開を進めたい。

田代
ラッピングバス・トラックによる粕屋町のPRの考えは。

町長
シティブロモーションの中で、現在検討中。ラッピングバスは有用な広告であり、加えて物流トラックにラッピングすることも検討中。また乗合バスのつり革広告についても職員からの発案で、様々な媒体を使い、PRを行っていききたい。



ラッピングバス(イメージ)

その他の質問
● 青少年健全育成について



あんど
安藤 和寿
議員

動画はコチラから



粕屋町ライドシェア 実用の考えは

町長

非常に厚い岩盤、
慎重に考える

タクシー不足の解消策として
ドライバ不足を補う観点か
ら、当町でもシルバー人材セン
ターなど新たなシニア世代の職
種として、粕屋町版ライドシェア
の考えは。

町長

ライドシェアと既存のタク
シー業界との共存を図るための
政策を国も考えている。
議員提案の高齢者雇用対策事
業は運転手の事故、安全性の問
題がある。町が運転免許証の返
納を推進している状況でもあり
ある程度相反する政策にもなる
ため慎重に考える。

安藤

町から福岡空港国内線ターミ
ナルに朝6時到着で、現在町内

安藤

のみを巡回しているふれあいバ
スを活用し、シャトルバスとして
投入することはできないか。

介護福祉課長

ふれあいバスの目的は道路交
通法に抵触しない形で、無料で
公共施設を巡回するバスとして
運行している。福岡空港への新た
な運航ルートの投入は少し厳し
い。

安藤

朝の福岡空港への移動は非常
に困っている。難題を解決し、粕
屋町のバスが福岡空港に行くこ
とは注目され、ふるさと納税の発
信にも繋がっていくと思う、付帯
的な部分も含めて是非運行を。

町長

案としては非常に面白い。よ
り一層アピールする点では非常
に有益と思うが、費用対効果の
検討や様々な規制のクリアは問
題として残っている。一挙に解決
するのがライドシェアと思う。公
共の費用が要らない、税金の投
入が必要ない総合的な観点から、
検討課題とする。



ほんだ
本田 芳枝
議員

動画はコチラから



令和6年度の 職員採用計画は

総務課長

今後も優秀な
人材確保に努めていく

市になるメリットは大きな施
策を組めることで、それが住民
のニーズに応えることになるの
では。若い方を呼び込み、定住し
て、より住みやすいまちにする
ことが今後の方針になる。サー
ビスの維持・向上を図るため、町
は職員定数を見直し、増員を図
ることになった。今後の採用計
画は。

本田

総務課長

社会情勢の変化に伴い、適材
適所の職員配置や業務量に応じ
た職員数の割り振りなど、適正
な定員管理を行っていく。今後
5年間の必要定数見込みの計画
を立て、定数を260名から
300名に条例を改正した。

本田

令和6年度の職員採用計画は。

総務課長

令和5年度からオンライン試
験を取り入れ、日本全国から受
験できる体制を整えた。
試験の回数を本年度は3回、
来年度は3回以上の試験を行い、
優秀な人材確保に努めていく。

本田

今後の町の取り組みで必要と
思われる専門職は。

総務課長

社会福祉士やその他の専門の
知識を有する職員は、各課から
の要望に
基づき計
画的に募
集する。本
年度、中途
採用で土
木職を2
名採用し、
特に1名
は建築に
も精通し
ている。



令和5年度 粕屋町職員採用試験(前期)
笑顔と挑戦で、かずやの未来を創ろう！

受付期間 5.22①▶6.19②

1次試験(テストセンター方式) 6.24③▶7.9④

詳しくは 粕屋町役場総務課 0938-0163

交流ひろば

～ブックスタートとは～

赤ちゃんと一緒に絵本に触れて楽しい時間を過ごすことを願い、10か月児健診と3歳児健診の際に絵本のプレゼントを行っています。

ボランティアによる読み聞かせを行っており、一緒に赤ちゃんの動きや反応を見守ります。



この機会に家庭でも読み聞かせを始めようと思いましたが、どんな本を選んだらいいかわからなかったもので、来てみて良かったです。

絵本は全部読んでしまわなくていいですよ。赤ちゃんが指差したり、見つめていたりする絵にお話を付け加えたりしてコミュニケーションをとってくださいね。



読み聞かせグループ まーぶる

11名のボランティアグループで、2名ずつの交代制で読み聞かせを行っています。コロナ禍の後、参加者が非常に少なく「わっしょいフェスタ」でも呼びかけました。10か月児健診後、こども館へぜひお越しください。

また、赤ちゃんに元気をもらいますよ。読み聞かせサポートをやってみませんか？

連絡先:かすやこども館
☎092-410-2230

編集後記

コロナ禍も落ち着きを見せ、多くの行事が再開しました。ボランティアによる絵本の読み聞かせもその一つです。子育て支援を大事にしている粕屋町ならではの取り組みです。子ども達を目の前にすると笑顔でいっぱいになります。

行事の再開とともにサポートするボランティアさん達も活動開始です。いろいろなところでボランティアの皆さんが活動し、町が成り立っています。消防団、PTA、交通安全の見守りなど多くの方々が力を貸してくださっています。

粕屋町の全てのサポーター、ボランティアの皆様に、感謝!!

ひろこ

お知らせ

次回3月議会は...

3月1日(金)
9:30 開始予定
.....
3月4日(月)から
9:30 一般質問予定

議会だよりは、粕屋町議会ホームページにも掲載しております。



UD FONT

見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。